

令和4年度「志教育」全体計画・年間指導計画等の提出について

令和3年度「志教育」実践事例報告

〈総合的な学習の時間～甲斐あるひとといわれたいむ～〉

石巻好文館高等学校

石巻好文館高等学校では、校是『甲斐ある人と言われなむ』（真心をもって世のため人のために 尽くす人になるように 日々努力する）を実現するために、総合的な探究の時間を、「甲斐ある人と言われたいむ」と銘打ち、活動を行っています。

主な活動として、1年次では自己理解研究、2年次では課題研究、3年次では自己実現研究に取り組んでいます。

2年次では4月に課題研究の準備段階として、石巻専修大学の教授から「研究とは」と題して、研究活動を行う上での基本的な心構えや具体的な取り組み手法を教授していただきました。生徒たちは「個人研究」という初めて経験する学習形態に戸惑いを受けている者も多かったですが、大学教授からの講話を聞いて、研究というものはどのようなものなのかという一端をつかんでいた様子でした。



9月には1年生対象に「社会人講話」を実施しました。本校卒業生を含めた8人の社会人の方々をお招きして、どのようにしてその仕事に就いたのか、仕事のやりがいや苦労はどのようなものなのか、学校の授業では学べない貴重なお話を伺うことができました。

生徒からは「講話を聞いて海外に留学したいという気持ちが一層強くなった」、「目標を持ってどこまでも高いところまでいこうことができると気づいた」、「どのような仕事も役に立っているということを学んだので、将来は社会貢献をしたい」など、大変前向きな感想を得ることができました。この講話で学んだことは必ずや今後の高校生活、そしてその後の甲斐あるひととして生きる道に役立つものと確信しています。



また10月には外部講師活用事業を活用して、1年生対象に「SDGs事例研究」を実施しました。昨年度から1年生では総合的な探究の時間において、SDGsの理念をもとに地域社会に潜む課題を洗い出し、よりよい社会作りのために何ができるかを考えていく時間を設けました。



この講話を通じて、石巻という地域からでもSDGsを介して世界とつながっていること、他人事と思っていたことが私たちの生活に大きな影響を及ぼしていること、つまり世界はつながっていることを改めて実感できました。この講話を受けて、生徒たちはSDGsによる石巻地域の課題と解決策をグループ活動により考察し、ポスターにまとめクラス内で発表する探究活動を行いました。生徒たちは様々な角度からこの地域の問題点を洗い出し、その解決策を大人ではなかなか考え出せない斬新な切り口で解決策をいろいろと考えました。この活動を通して生徒たちがこの地域の課題や地球規模の問題にさらなるに関心を持ち、卒業してからも何らかの活動を行う基礎になってもらえればと思います。

3年生では自己実現研究として、「グループディスカッション」や「ビブリオバトル」を行いました。将来に向けて「志」を実現するためには、自己発信力も必要です。これらの活動は、そのような自己発信力や発展的対話力を養うために行われました。特に「ビブリオバトル」は本年度からの初めての取り組みでした。生徒たちはお気に入りの本一冊を準備し、その本についてぜひ読んで欲しいことをプレゼンテーションします。今年度は各クラスでグループをつくりその中で行いました。



時間もあまり無いところで行ったので、プレゼンテーションの内容を考えるのはなかなか大変そうでしたが、本番では皆真剣に、そしてどの生徒も上手にプレゼンテーションができていました。このような活動が、将来における生徒個々の「志」を実現するためのきっかけのひとつになってほしいです。

(石巻好文館高等学校)